

軽米町「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」

取組事業名

- ・家庭教育支援事業
- ・教育振興運動推進事業
- ・放課後子ども教室推進事業
- ・学校支援地域本部事業

岩手県軽米町

学校名

- 軽米小学校 小軽米小学校 晴山小学校
軽米中学校 軽米高校

※該当する内容に○

| | | | | | | |
|------------|------------|-----------|------------|---------|-------------|-------------|
| 活動内容 | 学校支援 | 学習支援 | 部活動指導 | 美化・環境整備 | 登下校指導 | 学校行事・その他 |
| | | | | | ○ | ○ |
| | 放課後等支援 | 学習支援 | 体験・交流活動 | 遊び・スポーツ | 学童クラブとの連携 | その他 |
| | | | ○ | ○ | | |
| | 学校と地域の協働学習 | 復興学習 | 防災教育 | 伝統文化・芸能 | 職業体験・キャリア教育 | イベント・行事・その他 |
| | | | | | ○ | |
| 家庭教育支援 | 家庭教育講座 | 親子参加行事 | サロン・相談対応 | 家庭訪問相談 | その他 | |
| | ○ | ○ | | | ○ | |
| 地域課題に応じた学習 | 高齢者支援 | 心のケア・健康管理 | 生活再建・地域づくり | 地域人材育成 | その他 | |
| | | | | | ○ | |

取組概要

本事業を推進するため、地域教育コーディネーターを 3 名配置し、教育振興運動及び放課後子ども教室、学校支援活動において学校と地域を結びつける役割を担った。

【家庭教育支援事業】

- ・幼児期講座・学童期講座・思春期講座等、子どもの発達段階に合わせた学習機会の提供

- 幼児期講座 11 回（軽米町健康ふれあいセンター）
- 学童期講座 3 回（軽米小学校・小軽米小学校・晴山小学校）
- 思春期講座 3 回（軽米中学校）
- その他の講座 13 回（軽米小学校・小軽米小学校・晴山小学校・軽米中学校）

【教育振興運動推進事業】

- ・幼児・児童・生徒読書推進のため、学校等巡回朗読会の実施。
- ・地域の教育課題解決に向けての取り組み。
- ・情報メディアとの上手な付き合い方についての取り組み。

【放課後子ども教室推進事業】

- ・町内小学校全 3 校で 1 年～3 年までの低学年を対象に実施。（軽米小学校・小軽米小学校・晴山小学校）

【学校支援地域本部事業】

- ・「学校図書館情報システム」の効率的活用及び学校図書室の充実を図るための各小中学校巡回の実施。
- ・軽米高校図書室の整備支援。
- ・行事・体験活動等、各小学校の教育事業へのコーディネーターによる支援。
- ・町内全小学校 3 カ所でのスクールガード活動。

学校巡回時の読み聞かせ



スクールガード紹介式



平成 27 年度「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」

事業成果

○【家庭教育支援事業】

子どもの発達段階と地域の実情に合わせた学習機会の提供を行った。乳幼児健診と併せ、本の読み聞かせを行い子どもの読書推進を図るとともに、保護者同士及び親子のコミュニケーションの機会を確保した。また、就学時検診と併せ、子育て講座を実施し、読書運動の展開・基本的な生活習慣の習慣化を図った。

○【教育振興運動推進事業】

幼児施設・小学校・中学校を対象に全 7 カ所で 11 月に朗読会を実施し、延べ 822 人参加となった。

また、2 月に教育振興運動集約集会を実施し、地域活動の現状と課題、今後の運動推進について共有を図った。

○【放課後子ども教室推進事業】

町内全小学校 3 カ所で実施し、児童の安全な居場所の提供しながら、豊かな体験活動を行っている。また、本事業は、様々な年代の地域住民の方々に安全管理員として協力いただきながら、運営している。安全管理員が主体的になってその日のプログラムを考えたり、時には、昔遊びの伝承を行ったりと地域住民の参画による教育支援活動が図られている。

| 学校施設名 | 1~3 年 児童数 | 申込数 | 参加割合 | 開催 日数 | 参加児童数 (延人数) | 安全 管理員 |
|--------|--------------|-------|-------|----------|----------------|-----------|
| 軽米小学校 | 115 人 | 54 人 | 46.9% | 129 日 | 2,721 人 | 4 人 |
| 小軽米小学校 | 33 人 | 33 人 | 100% | 143 日 | 2,277 人 | 4 人 |
| 晴山小学校 | 47 人 | 45 人 | 95.7% | 130 日 | 3,556 人 | 3 人 |
| 計 | 195 人 | 132 人 | 67.6% | 402 日 | 8,554 人 | 11 人 |

○【学校支援地域本部事業】

学校支援地域本部事業を町内全ての学校（小学校 3 校、中学校 1 校、高校 1 校）で実施している。小中学校では、学校の教育活動に係るボランティアの呼びかけ、地域ボランティア団体との橋渡し、学校図書館の整備、読み聞かせ等読書活動推進といった支援を行っている。高校では学校図書館の整備や読書活動の機会充実のための支援を行っている。

また、登下校時の安全指導として、スクールガードを地域住民の参画により行い、現在全 47 名で活動している。事業を継続していく中で、学校でスクールガードの方々を招き「感謝の会」が開かれる等、学校と地域が密着したものとなってきている。

課題と今後の取組

○本事業は、学校・家庭・地域が連携し子どもを育てる環境整備の推進に欠かせない事業となっており、地域コミュニティの中心的な役割を果たしている。特に放課後子ども教室・学校図書館の充実・登下校時の見守り等は、様々な年代の地域住民の参画による教育支援活動が図られているが、ボランティアの固定化と高齢化による活動の停滞を危惧しているところであり、より幅広い世代が参加できるよう活動への理解と周知を図っていかねばならないと考えている。

○放課後子ども教室推進事業については、児童の安全な居場所の提供をしながら豊かな体験活動の充実に力を入れていく。また、放課後子ども総合プランに基づきながら、放課後児童クラブとの連携・充実を図っていく必要があると感じる。